



SESERAGI—MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2016～2017年度 RI会長 ジョンF. ジャーム
RIテーマ 人類に奉仕するロータリー

クラブテーマ「出会いに感謝&ありがとう」会長 中山和雄

副会長 山口辰哉 幹事 米山晴敏

第1320回 例会
2017.4.28(金)晴

司会:田中錦城君 指揮:土屋 巧君
ロータリーソング「それでこそロータリー」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 中山和雄君



こんにちは。先週は例会を途中退席させて頂き、三島西ロータリークラブの45周年記念例会に参列させて頂きました。近隣クラブからは三島ロータリークラブの会長、幹事とせせらぎ三島ロータリークラブの私と米山幹事の四名だけで台湾の二つの友好クラブから大勢のロータリアンが参加され盛大に行われました。昼間はゴルフで米山幹事に参加していただきましたが台湾のガバナーと亥角ガバナー補佐と一緒に組んでプレーしたそうで、せせらぎ三島のゴルフの質の高さをアピールされた事と思われま

す。そして先週の例会での押田さんのお話は如何でしたでしょうか。皆さん感銘を受けたのではないのでしょうか、またせせらぎ三島ロータリークラブの事業としてどの様な事が出来るのか社会奉仕委員長を中心に皆さんの話し合いで応援出来るものがあれば取り入れて頂ければと考えます。

さて今日は田中錦城さんの紹介をさせて頂きます。田中さんは1959年11月6日三島市で生を享け、地元の小・中学校から土浦日大高・流通経済大経済学部、高校・大学と野球部に入部し選抜甲子園・全日本大学選手権にも出場したそうです。1982年大学卒業と同時に地元に戻り一部上場重電メーカーに入社し翌年関連OAハード&ソフト販売会社の立ち上げに参加。

1992年IT関連ビジネスを中心に手掛ける株式会社ケイネットを設立しその2年半後にはウィンドウズ95の登場でOAブームが到来し、ハードとパッケージソフトのセット販売のみでビジネスが成り立ち幸運な時代がその後しばらく続き、創業時を順調にパソコン販売で経営基盤を固めることが出来、一方地元医療機関・高齢者施設そして観光関連業務システム分野などにも次々と実績を伸ばし、最近ではIT分野以外においても「コーディネートビジネス」の可能性に挑戦しており例えば静岡大学工学部とのコラボレーションによるある環境系技術の事業化実証プロジェクトに取り組み、これが成功すれば可燃性廃棄物全般の効率的で

経済的かつ安全な処理を可能にする技術で、東北太平洋沿岸地域で社会問題化している震災ガレキの処理等に大きな力となるものと期待されるのではと力強く語っていました。

以上田中錦城さんの紹介でした。ありがとうございました。

出席報告

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	24/37	64.86%	35/37	94.59%
今回	25/37	67.57%	会員総数	39名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

内田君、遠藤君、大村君、勝又君、篠木君、杉山(順)君、鈴木(政)君、鈴木(真)君、服部君、兵藤君、山口(辰)君、山本君 (*出席免除会員の欠席者 兼子君、澤田君)

おめでとう

会員誕生日 4月29日 石井邦夫君
入会記念日 4月30日 土屋 巧君

幹事報告

幹事 米山晴敏君

- ①パスト会長の皆様、昨夜の懇話会出席ありがとうございました。
- ②この会場に来て1カ月経ちました。会場設営につきまして、現在SAAと親睦委員会にやってもらっていますが、これからは会員の皆様にも協力していただき、テーブルごとに持ち回りでSAAの指示でやるようにしたらどうでしょうか。
- ③クラブ定款・細則・内規の変更について皆さんに資料を送ってあります。あとは評決のみとなりますので宜しくお願いします。

加藤正幸君

今、スーパーマーケットが大転換期を迎えた。流通大手の総合スーパー（GMS）事業の不振や、地方を中心とした業界再編など、日本のスーパーマーケット業界を取り巻く動きが目まぐるしく変化している。特集「スーパーマーケットが生き残る道」では、そうした状況下での各社の取り組みなどを見ていく。

長らく続いているスーパーマーケット業界の低迷の大きなボトルネックがこのGMSにある。

かつては、食料品や日用品に加えて、衣料品、家具など、さまざまな商品を総合的に品揃えるGMSが消費者の支持を集めた。ところが、1990年代に入ると「ユニクロ」に代表される専門店の台頭によって顧客が奪われ、特に衣料品を中心にGMSの売上は大打撃を受けた。その代表格がまさにダイエーである。その後、同社は産業再生機構の支援を受け、イオンと業務・資本提携を結び、ついには2015年1月、イオンの完全子会社となった。

ただし、決してダイエーだけがあおりを食ったわけではない。スーパーマーケット市場全体でも、16兆8635億6200万円の総売上高を記録した1997年をピークに縮小の一途をたどり、現在は約13兆200億円と大幅に下げた。

好調なのは食品くらいで、そのほかのジャンルは軒並み低迷。業界の2強であるセブン&ホールディングスとイオンにおいてもGMSを中心としたスーパーマーケット事業は苦戦状態の真ただ中だ。

中心市街地からローサイドへ

このような市場全体の低迷と歩調を合わせるかのように、この20年でスーパー業界では大きな地殻変動が起きている。

活発化する地方再編

こうした流れにおいて苦しいのが地方スーパーである。そこでまさに地方を中心としたスーパーマーケットの業界再編が加速しており、ここへきて経営統合や業務提携といった動きが活発化している。

今後勝ち残るスーパーの条件として、「必ずしも企業規模が大きければいいというわけではないが、新たな投資や価格競争などをできる余力が最低限必要。投資も継続的にできなければならない」

その選択肢として地方スーパー同士、あるいは地方スーパーと大手スーパーとの経営統合や資本提携が進んでいるのが現状だとする。

生き残りをかけて新たな戦略を提案

経営統合などでライバル他社と手を組み、規模を拡大して生き残りを図るスーパーがいる一方で、独力でさらなるビジネス成長を遂げようとする企業もある。

そうした企業の代表的な取り組みの1つが「ネットスーパー」である。これまでの店舗販売とは別に新しい販売チャンネルを開拓すべく、多くの企業がネットスーパーの立ち上げ、強化を急いでいる。



スマイルボックス

大房正治君：4月23日のロータリーコンペで3年ぶりで優勝しました。

中村 徹君：今日は細則・内規の改定についてご審議よろしくお願ひ致します。

石井邦夫君：明日、29日誕生日です。66歳になります。よろしくお願ひします。

小林 勝君：先日のコンペで準優勝させていただきました。毎回優勝候補でまだ優勝はできません。優勝するまで高ハンデ仲原委員長よろしくお願ひします。

田中錦城君：ゴルフコンペ楽しかったです。函南はグリーンが難しかったです。3位入賞しました！

仲原実圭君：先週日曜日のゴルフコンペにご参加の皆様お疲れ様でした。次回は今期最後のコンペになります。取り切り戦にもなりますのでご参加お待ちしております。5月27日土曜日を予定しています。

山田定男君：15分早退します。すいません。

